

成果報告(ポスター)

2014年度助成 (助成期間：2015年1月1日～2016年12月31日)

タイトル	児童が主体的に取り組む理科学習指導法 ～自然を愛し科学的な考え方のできる児童を育てる～		
所属機関	伊勢原市立桜台小学校	役職 代表者 連絡先	学校長 関野 栄子 0463-95-2787



実践の目的：	<p>「自然を愛し、科学的な考え方のできる児童像」に迫るため、児童に次のような力を育て、そのために有効な理科学習の指導法を探る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自然に関する意欲や関心を高め、主体的に問題を見出す力を伸ばす。 ○見通しや仮説を立てて、観察・実験を行い、問題解決の能力や態度を育成する。 ○観察・実験の結果を整理し、考察、表現できる力を養う。
実践の内容：	<p>「学習活動を工夫した授業実践することで、児童は主体的に理科学習に取り組み、目指す児童像に迫ることができるだろう」という仮説をもとに学年ブロックを中心に授業研究を進めた。特に友達との意見交流、観察・実験の記録や結果などの表現に、ICT機器を用いることで、学習活動を活発化することを試みた。</p> <p>また基本的な実験指導の手順、タブレット端末の活用方法、植物教材の扱い方など職員研修を重ねた。学校内外の自然に気づくよう、「見つけたよカード」など、全校での取り組みも実施した。</p>
実践の成果とその訴求点：	<p>アンケートの結果、理科の授業が好き、実験が楽しい、友達に意見を発表できるという児童が増えた。観察・実験の記録や意見交流に使ったタブレット端末やデジタルカメラ、大型テレビなどのツールが、児童の主体的な学習に役立った。職員研修により、ICT機器の授業での活用が増えた。</p> <p>これまで本校児童は、環境的に自然に関する興味関心が薄いと感じていたが、緑のカーテン、校庭の昆虫、飼育した蚕など、それぞれの学年に応じた観察に意欲的に取り組めた。これらの観察や実験の結果を発表することにも意欲的になった。</p>

